

21 旅館・ホテル・宿泊所

【関連章第7章4】

事例2 「宿泊室のごみ箱に吸い殻を捨てたため出火した火災」

出火時分 3月 8時ごろ
用途等 ホテル 耐火造 13/0 延 6,000 m²
防火管理 該当選任あり 消防計画あり
被害状況 建物ぼや1棟 ごみ若干焼損
概要

この火災は、ホテル3階の宿泊内から出火したものです。

出火原因は、宿泊客が宿泊室内に設置されごみ箱に火種の残っているたばこの吸い殻を捨てたため、出火したものです。

フロントで勤務中の従業員は、自動火災報知設備が鳴動したため、受信機を確認すると3階を表示し、宿泊室前の非常ランプが点灯していたことから、マスターキーを使用して宿泊室に入ると、ごみ箱から煙が立ち上がっているのを発見しました。火災を発見した従業員は、ホテル清掃員と協力して、ごみ箱を洗面所まで搬送し、蛇口の水をかけて初期消火に成功しました。

フロントで勤務していた従業員が、自動火災報知設備の鳴動後、受信機を確認して、全館放送で宿泊客に避難を呼びかけ、火災を発見した従業員から火災発生 の情報を得たことから、固定電話から119番通報しました。

出火時、火元の宿泊室の利用客はチェックアウトを済ましていたため、無人状態でした。

教訓等

この火災は、宿泊客のたばこの吸い殻の不始末に起因して出火しています。

多くの宿泊客が利用するホテルで火災が発生すると、甚大な被害が発生する危険があります。火災を起こさないためにも、日頃から従業員が火災予防に対する意識を持ち、火災発生時は迅速に対応ができるよう自衛消防能力の向上を図ることが重要です。また、宿泊客も喫煙をする際は、ホテル所定の喫煙場所で喫煙し、たばこの吸い殻の始末を適切に行い火災を起こさないよう注意しましょう。



写真 21-3 宿泊室の状況



写真 21-4 焼損したごみ箱の状況



写真 21-5 ごみ箱内に捨てられていた吸い殻の状況